



設楽ダムだより

第154号

建設機械特集

2023. 7

工事現場で働く クルマ特集



8/19 見学会開催
します

設楽ダム建設事業では、様々な建設機械が掘削・盛土・橋・トンネル・伐採などの作業で活躍しています。本号では、そんな設楽ダムの工事現場で日々活躍している建設機械の一部をご紹介します。

オフロードダンプトラック/迫力満点の運び屋

“オフロードダンプトラック”は、大量の土砂や岩石を運搬することができる運び屋さんです。車体が大きすぎるので一般道は基本的に走れませんが、工事現場内の舗装されていない道でも苦にせず走ることができます。



ブルドーザー/道なきところを切り拓く工事現場の雄



“ブルドーザー”は、土砂のかき起こしや運搬、整地を得意としています。前面についているブレードで土を進行方向に押し出したり、リッパと呼ばれる爪で石や岩を砕くこともできます。

ホイールローダー/四輪駆動で機動性抜群

“ホイールローダー”は、大きなバケットが備えられており、クローラ（キャタピラ）走行ではなく、名前のとおりホイール（タイヤ）走行が特徴です。機動性があり、積み込みや運搬作業が得意です。ブルドーザーと少し似ていますが、土砂などの積み込みや運搬が主目的の場合はホイールローダーを、荒地の整地や土の押し出しなどが主目的の場合はブルドーザーを使います。



油圧ショベル/何でもこなす万能機械

“油圧ショベル”は、現場の「手」となって掘る、運ぶ、吊る、ならす、などいろいろな作業ができる何でも屋さんです。さらにアームの先端（アタッチメント）を交換すれば、岩を砕いたり、木を挟んで持ち上げたりすることもできるなど、まさに万能機械です。ショベルカーやバックホウ、ユンボと呼ばれることもあります。



ドリル/岩盤掘削のプロフェッショナル



“ドリル”は、トンネル工事で活躍し、硬い岩盤などに孔をあけることができる機械です。打撃と回転で岩盤に深く孔をあけ、そこに火薬を装填し爆発させて硬い岩盤を崩しながら掘り進めます。

油圧クレーン/高所作業ならお任せ

“油圧クレーン”は、橋脚の工事など高いところで作業をするときに活躍します。資材を吊り下げて運んだり、橋を架ける場合にも使われます。ちなみに、クレーンの語源は鶴（crane）からきているとか。そう言われると鶴が首を伸ばしているように見えますね。



ロゴマークを作成しました



設楽ダム建設事業は東三河地域の「森と水と人をつなぐ」事業です。この度、そのシンボルとしてロゴマークを作成しました。

東三河を構成する8つの市町村を細胞に見立て、みずみずしく潤った多様性豊かな細胞が、寄り添い語り合いながら、共に成長していくことをイメージしました。

今後、多くの皆様に親しんでいただけるよう、さまざまな場所や場面で展開してまいります。

工事現場で働くクルマ見学会を開催します

本号でご紹介したように、設楽ダム建設工事で日々活躍する建設機械をご覧いただける見学会を開催します。普段目にすることができない巨大なオフロードダンプトラックやブルドーザー、油圧ショベルなどが間近でご覧いただけます。夏の思い出に是非お越しください。

【開催日時】 令和5年8月19日（土）

10:00～14:00（会場行きマイクロバス最終出発 13:30）

【会場】 設楽ダム工事現場内 山村都市交流拠点施設予定地
（愛知県立田口高等学校より南西側 約600m）

【アクセス】

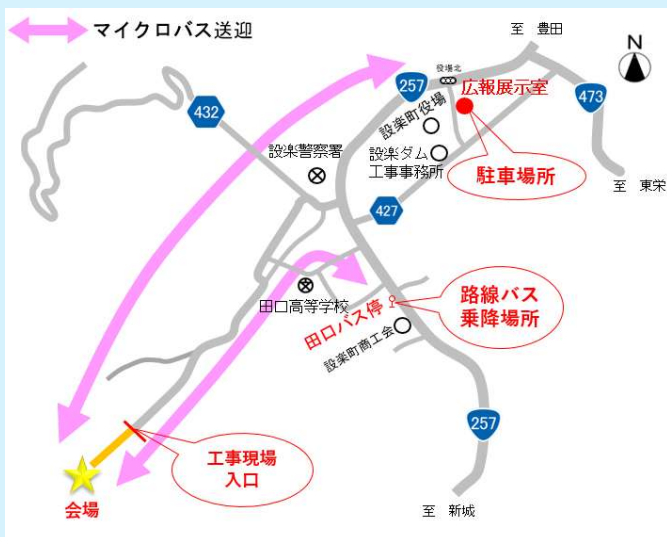
お車をご利用の場合：設楽ダム工事事務所広報展示室駐車場から送迎マイクロバスをご利用ください。

公共交通をご利用の場合：田口バス停から送迎マイクロバスをご利用ください。

※会場内に駐車場はございませんが、徒歩で直接会場にお越しいただくことは可能です。



子ども向けの企画もあります！



【お伝え事項】

- ①小雨決行。ただし、荒天の場合は中止します。
※中止の場合は設楽ダム工事事務所ホームページ（欄外URL参照）にてお知らせしますのでそちらをご確認いただくか、以下の電話番号までお問合せください。

☎ 当日専用番号：080-8672-5587

- ②会場は工事現場内で未舗装のため、汚れても良い服装・歩きやすい靴でお越しください。
- ③飲み物の用意など熱中症対策をお願いします。

※見学会の詳細につきましては、後日設楽ダム工事事務所ホームページにてお知らせします。

